

イスターカーテン

あけてんで 枠周り

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

———目次———

□施工上の注意事項	P 1
□梱包内容	P 2
□必要工具類の確認	P 3
□取り付け手順	P 4
1 アンカーの取り付け	P 4
■ アンカー取り付けピッチ	P 5
2 レール連結	P 8
■ 上枠連結	P 9
■ 下枠連結	P 10
■ タイト材の取り付け	P 11
3 枠の組み立て	P 12
4 躯体の寸法確認	P 14
5 枠の取り付け精度	P 14
6 枠の建て込み	P 15

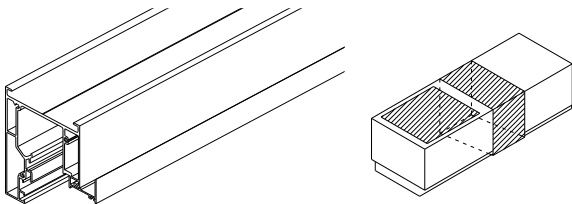
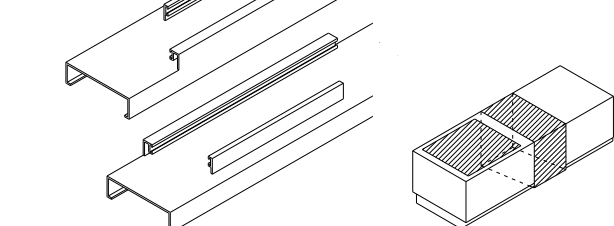
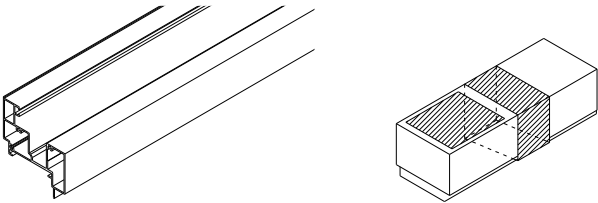
□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠が躯体に納まるかどうか、躯体の開口幅・開口高を実測してください。
- ⑤ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑥ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑦ 施工後、ボルトおよびねじ類にゆるみやガタツキ、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。

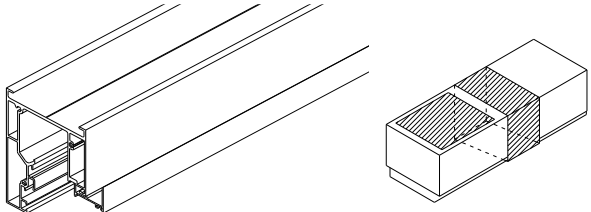
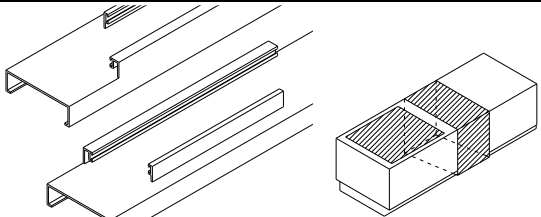
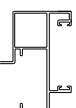
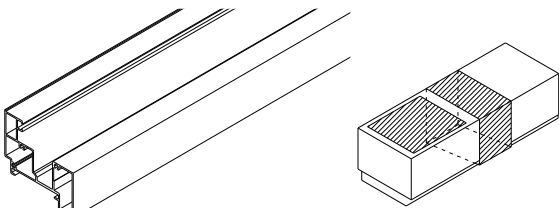
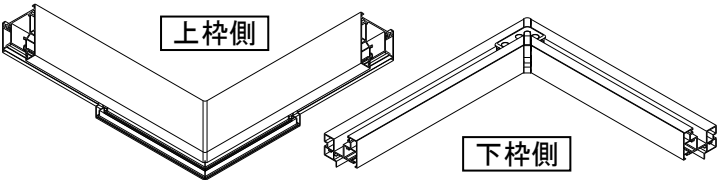
□梱包内容

〔枠梱包内容〕 ※開梱時に種類と有無の確認をおこなってください。
また、上枠、縦枠、下枠、タイト材セット（連結仕様のみ）は、別々に梱包してあります。

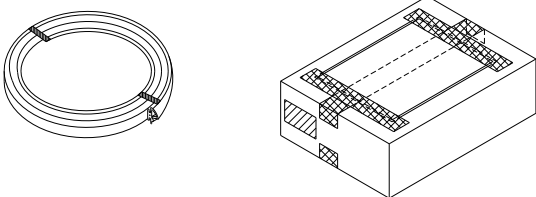
■直線

品名	形状		個数	備考
上枠			必要数	※上枠用附属部品箱同梱 (1箱/梱包)
				
縦枠			縦枠:2本	※縦枠用附属部品箱同梱 (1箱/梱包)
				
下枠			必要数	※下枠用附属部品箱同梱 (1箱/梱包)
				

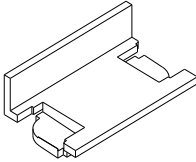
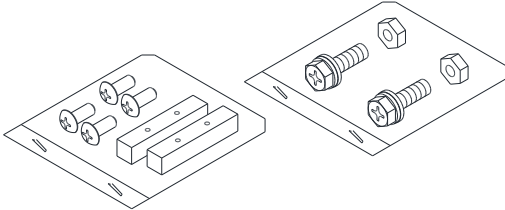
■角度付

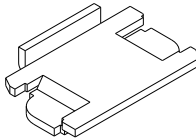
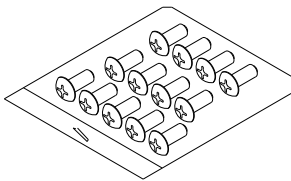
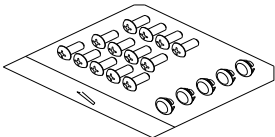
品名	形状		個数	備考
上 枠			必要数	※上枠用附属部品箱同梱 (1箱/梱包)
				
縦 枠			縦枠:2本	※縦枠用附属部品箱同梱 (1箱/梱包)
				
下 枠			必要数	※下枠用附属部品箱同梱 (1箱/梱包)
				
角 度 部			1箱	上枠側:1個 下枠側:1個

■タイト材セット

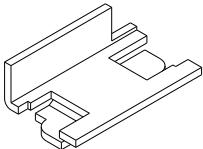
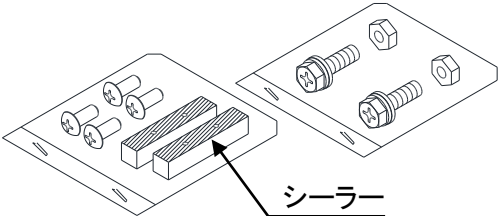
タイト材セット		1 箱	2 本/梱包 ※連結仕様(W<3600)時のみ同梱
---------	---	-----	------------------------------

[同梱部品(附属部品箱入り)]

上枠用附属部品	アンカー		必要数	・個数は、附属部品箱に記載
	連結部品セット		必要数	・個数は、附属部品箱に記載 ※連結仕様(W<3600)時のみ同梱

縦枠用附属部品	アンカー			必要数	・個数は、附属部品箱に記載
	枠組立ネジセット	RC 枠		1 袋	・枠組立て用ねじ (+)タッピンねじバインド 4×40:13本(直線) 7本(角度付) (予備:1本含む)
		面付枠		1 袋	・枠組立て用ねじ (+)タッピンねじバインド 4×40:13本(直線) 7本(角度付) (予備:1本含む) ・ネジ穴キャップ:5個(直線) 3個(角度付) (予備:1個含む)

[同梱部品(附属部品箱入り)]

下枠用附属部品	アンカー		必要数	・個数は、附属部品箱に記載
	連結部品セット		必要数	・個数は、附属部品箱に記載 ※枠連結仕様時のみ同梱

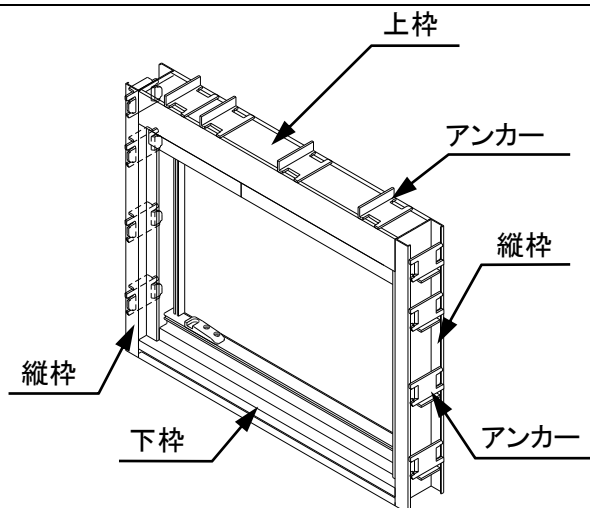
□工具類の確認

(+) 手動ドライバー	(-) 手動ドライバー [先端幅: 3mm程度]
カッター	スパナ(幅寸法8mm:M5用)
プライヤー	プラスチックニッパー
プラスチックハンマー	電動インパクトドライバー
スケール	水平器
延長コード(3芯アース、ブレーカー付き)	溶接機
ひも	脚立
足場板	

□取り付け手順

施工は、以下の手順でおこなってください。
本図は、RC枠仕様 片引き:左勝手を示す。

- 1** アンカー取り付け
- 2** レール連結 (※連結仕様の場合)
- 3** 枠の組み立て
- 4** 躯体の寸法確認
- 5** 枠の取り付け精度
- 6** 枠の建て込み



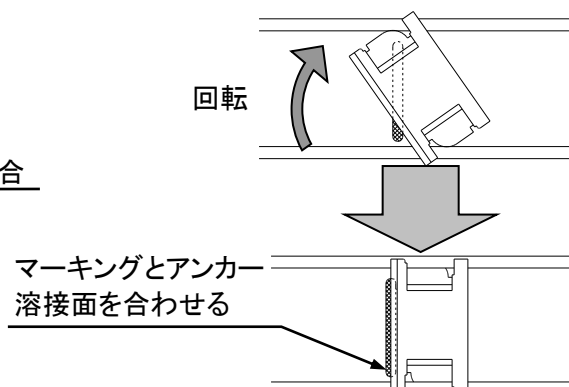
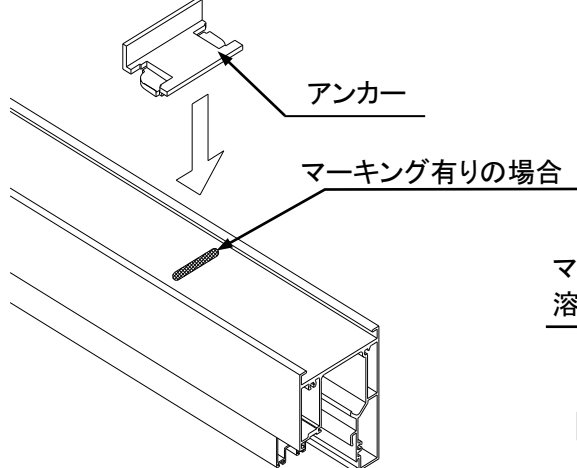
1 アンカーの取り付け

上枠・縦枠・下枠にアンカーを取り付けます。
図は、上枠への取り付けを示します。縦枠、下枠への取り付けも上枠と同じ要領で取り付けます。

上枠のアンカーは、必ず上枠にマーキングしてあるピッチに合わせて取り付けてください。
上枠以外のアンカーは次ページからのアンカー取り付けピッチの図を参照してください。

[アンカーの取り付け]

- ① アンカーを取り付け箇所置き、プライヤーにて下図のように回転させて取り付けます。



注意 ガタツキがなく、確実に取り付けられていることを確認してください。

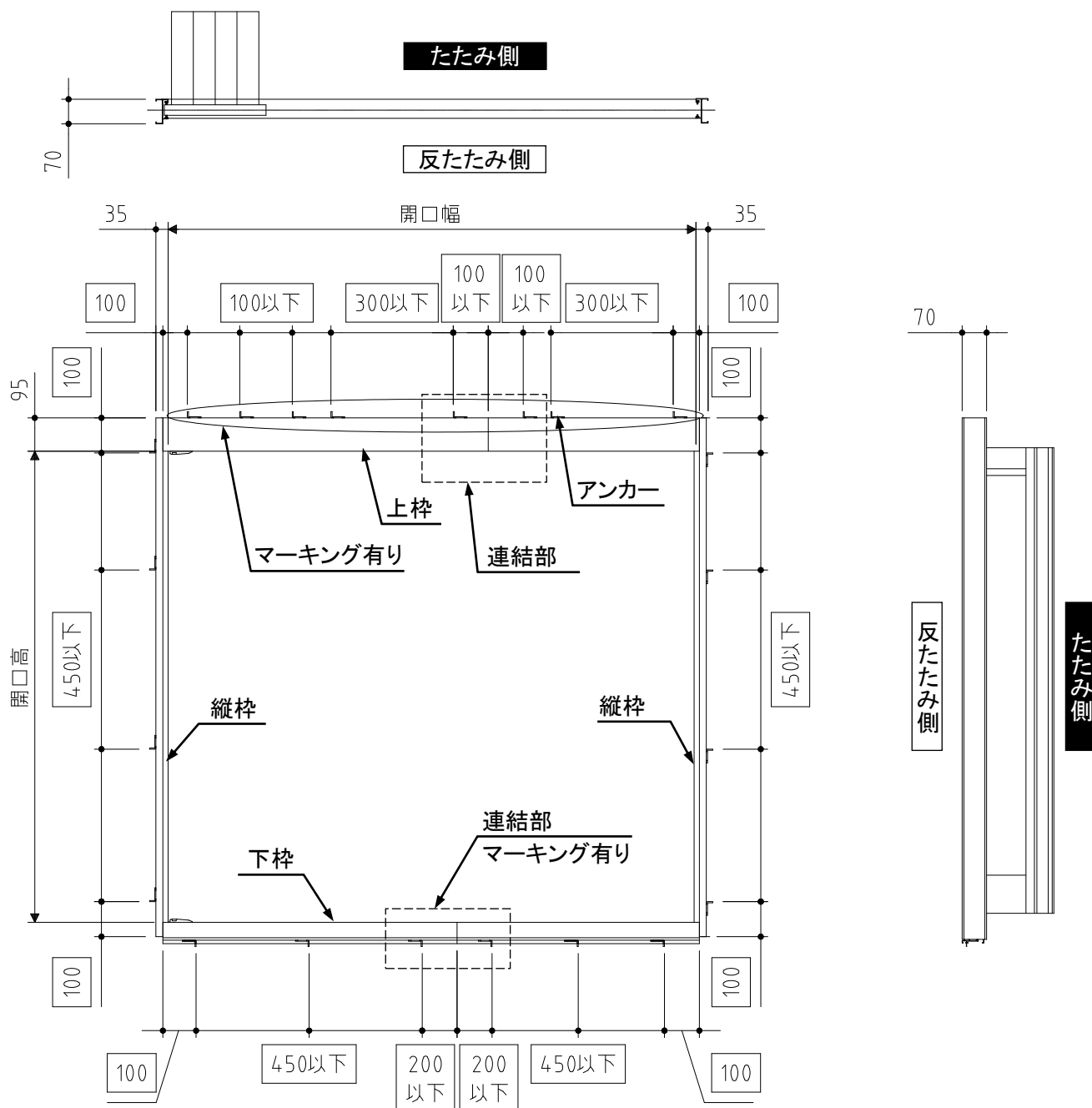
■ アンカー取り付けピッチ

[片引き(右勝手)]

- ・ にて囲んである寸法は、アンカーの取り付けピッチ寸法です。

※寸法単位はmmです。

 は連結仕様の場合のみです。



※勝手の定義

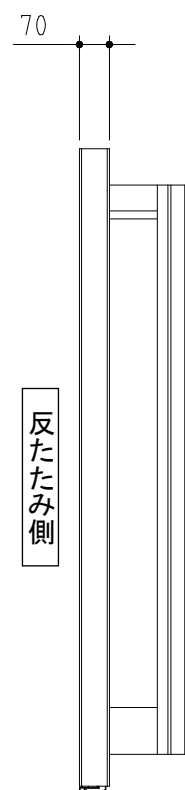
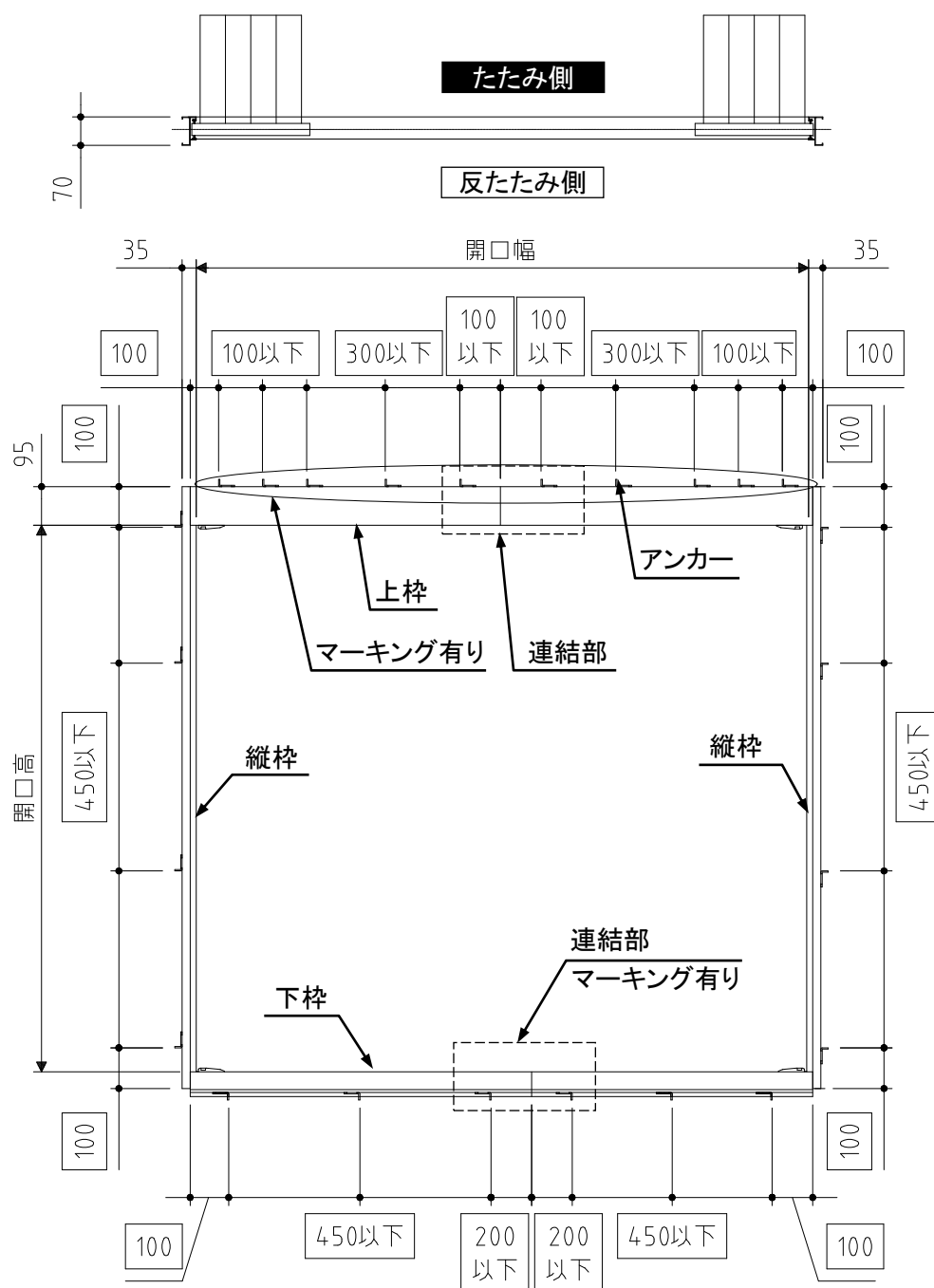
- ・右勝手は、たたみ側からみて右側に障子をたたむ場合。
- ・左勝手は、たたみ側からみて左側に障子をたたむ場合。

[引分け]

- ・ にて囲んである寸法は、アンカーの取り付けピッチ寸法です。

※寸法単位はmmです。

 は連結仕様の場合があります。



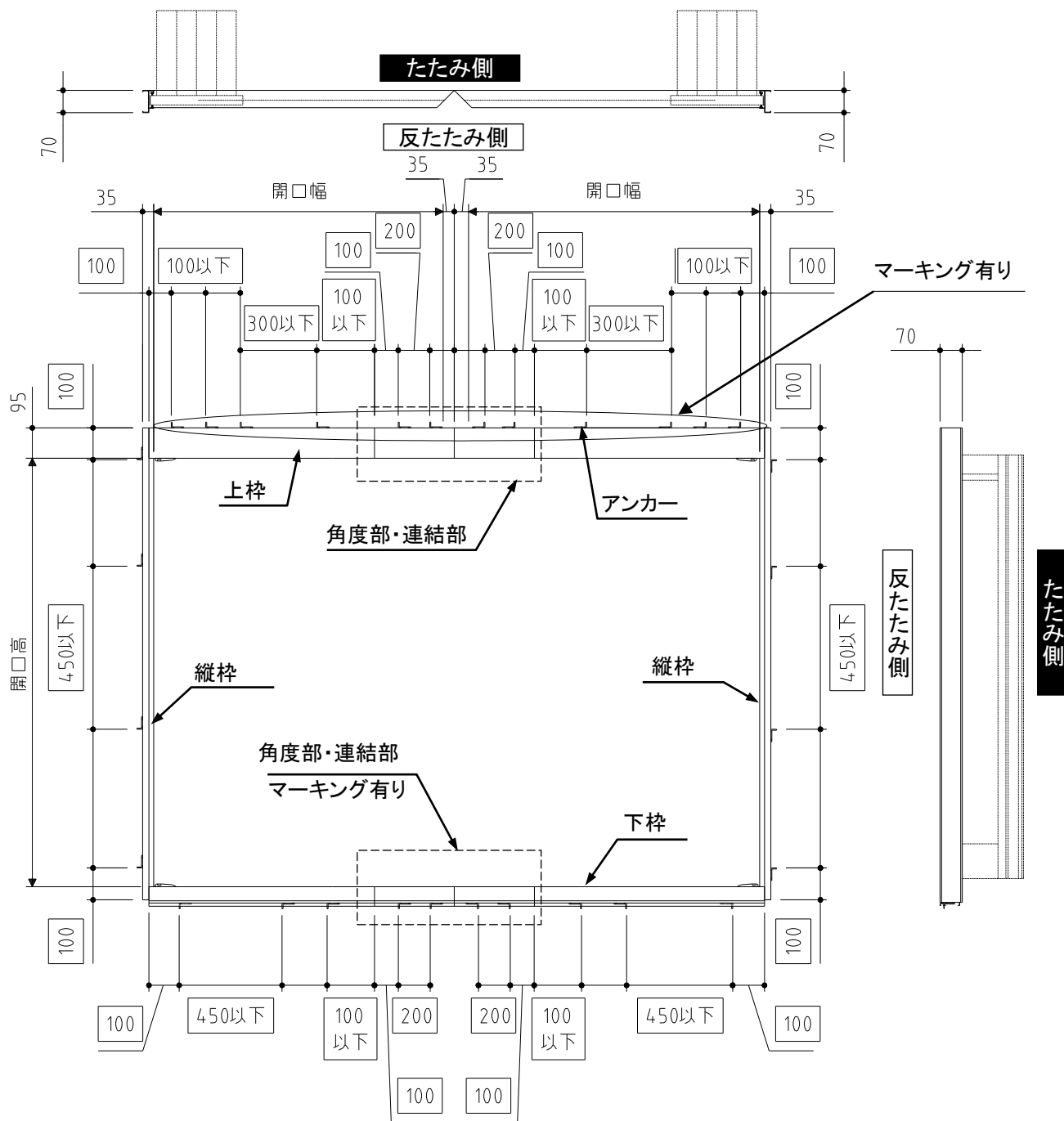
■アンカー取り付けピッチ

[角度付]

- ・ にて囲んである寸法は、アンカーの取り付けピッチ寸法です。

上枠については、承認図を参照してください。

※寸法単位はmmです。



2 レール連結(※連結・角度仕様の場合)

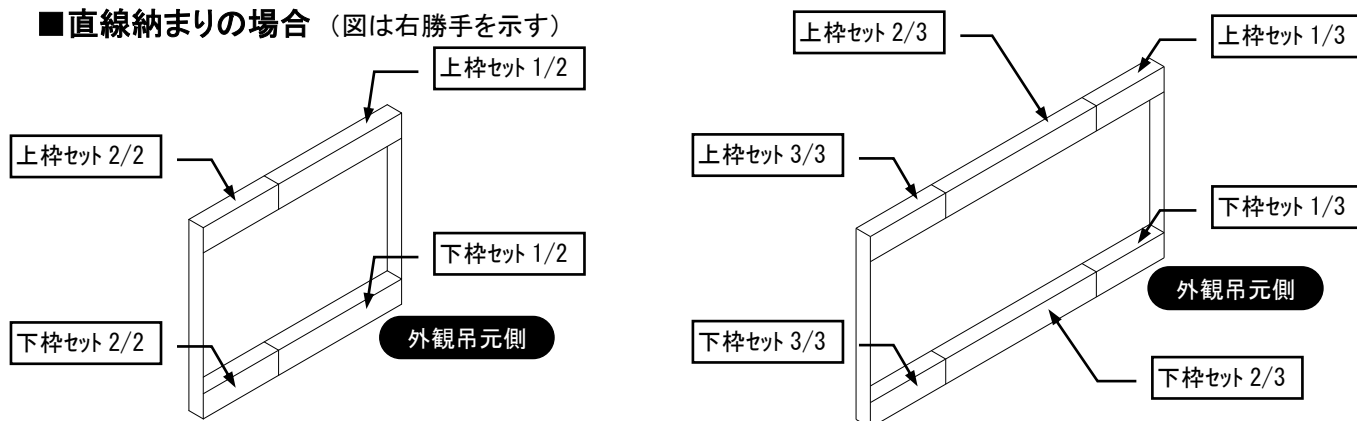
上枠 および 下枠を連結する場合は、枠本体に貼付けてある表示ラベルに明記してある順番で連結してください。

工事名	
窓番	AAW-1
梱包種類	Y** - 25DM - SLC - UW 上枠セット 1/3
同梱部品	
ガラス寸法	G1: G3: G5: - G2: G4: -
株式会社TOKO	イスターカーテン あけてんで

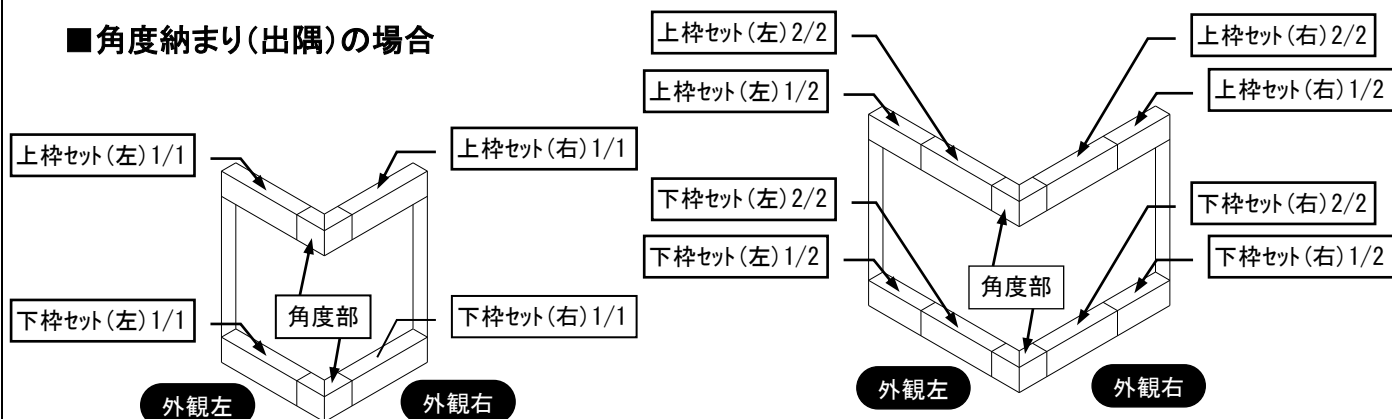
窓番	AAW-1
梱包種類	Y** - 25DM - SLC - UW 上枠セット 1/3

この部分の番号順に吊元側より連結してください。

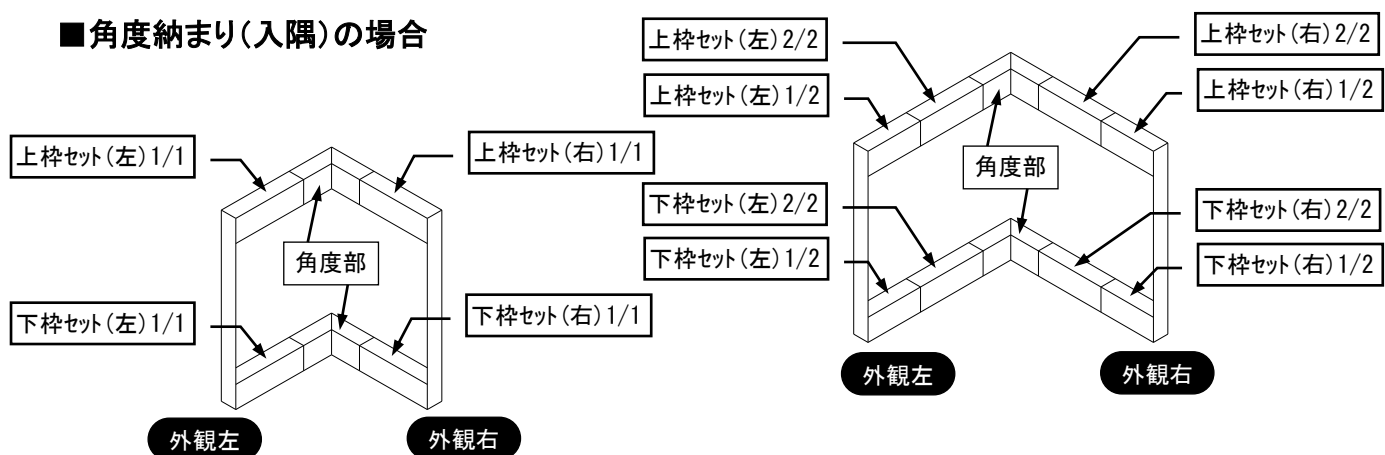
■直線納まりの場合 (図は右勝手を示す)



■角度納まり(出隅)の場合



■角度納まり(入隅)の場合



■ 上枠連結

- ① 上枠Aに連結材を(+)小ねじトラスM4×10、(+)小ねじ鍋M4×8にて取り付けてください。
- ② 上枠Aと上枠Bをスライドさせて、連結材と上枠Bとを(+)小ねじトラスM4×10、(+)小ねじ鍋M4×8にて固定してください。
- ③ 上枠上部に(+)六角ボルト(バネ座金・平座金付)M5×20と六角ナットにて固定してください。
- ④ 上枠下部より(+)タッピンねじバインド4×40にて上枠同士を固定してください。

※連結材と取り付けねじ類は、上枠に同梱してあります。

注意 連結材を取り付ける際、電動インパクトは使用しないでください。

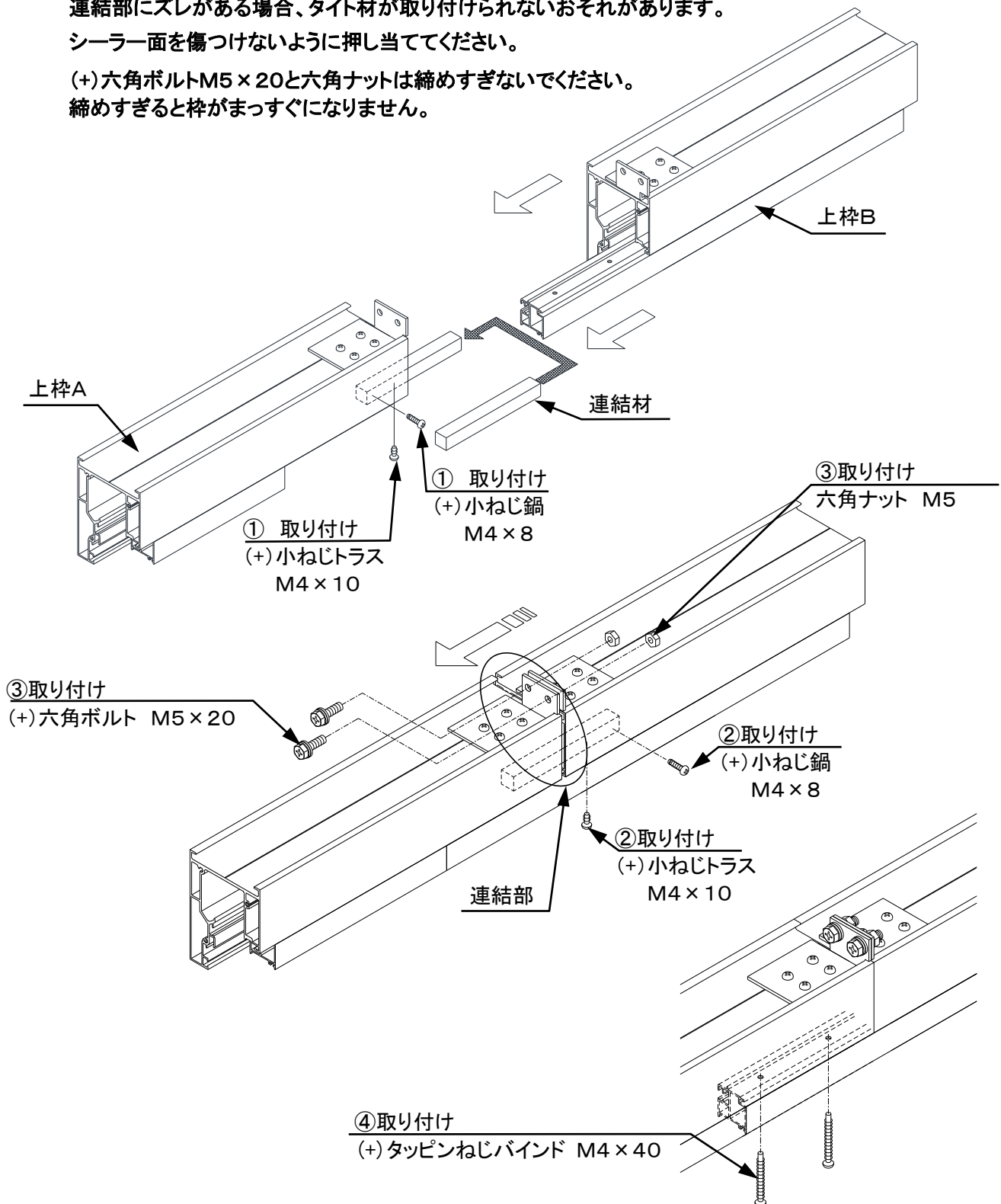
連結部にズレやすき間がないことを確認してください。

連結部にズレがある場合、タイト材が取り付けられないおそれがあります。

シーラ一面を傷つけないように押し当ててください。

(+)六角ボルトM5×20と六角ナットは締めすぎないでください。

締めすぎると枠がまっすぐになりません。



■ 下枠連結

- ① 下枠Aに連結材を(+)小ねじ皿M4×10、(+)小ねじ鍋M4×8にて取り付けてください。
- ② 下枠Aと下枠Bをスライドさせて、連結材と下枠Bとを(+)小ねじ皿M4×10、(+)小ねじ鍋M4×8にて固定してください。
- ③ 下枠下部に(+)六角ボルト(バネ座金・平座金付)M5×20と六角ナットにて固定してください。

※ 連結材と取り付けねじ類は、下枠に同梱してあります。



連結材を取り付ける際、電動インパクトは使用しないでください。

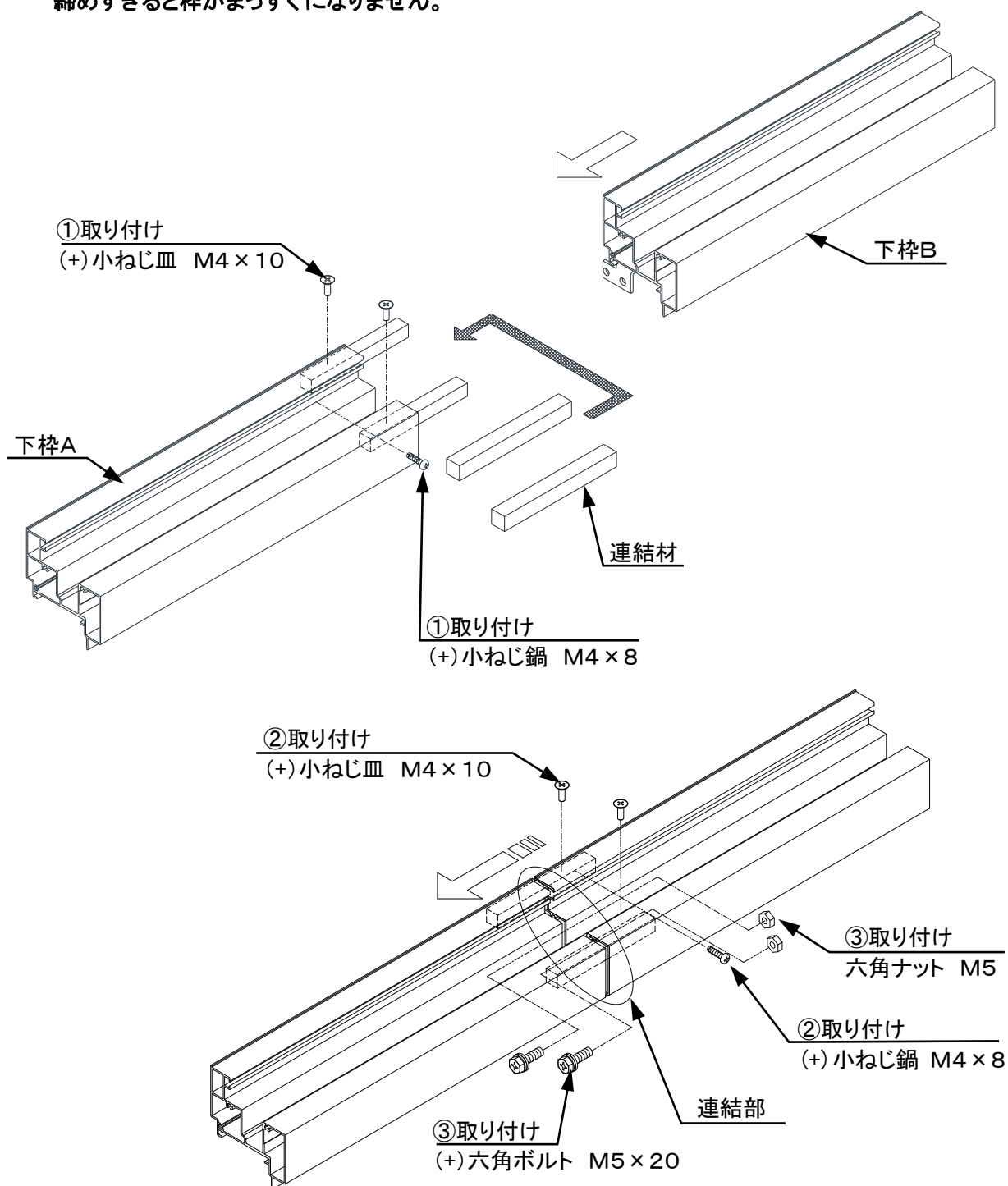
連結部にズレやすき間がないことを確認してください。

連結部にズレがある場合、タイト材が取り付けられないおそれがあります。

下枠A、Bを接合する際に、シーラ一面を傷つけないように押し当ててください。

(+)六角ボルトM5×20と六角ナットは締めすぎないでください。

締めすぎると枠が真っすぐになりません。



■ タイト材の取り付け

○上枠および下枠が連結仕様の場合は、タイト材が挿入されていません。

○タイト材を上枠および下枠に必ず挿入してください。

○連結部または枠の途中で切断しないでください。

切断箇所から水漏れが生じます。

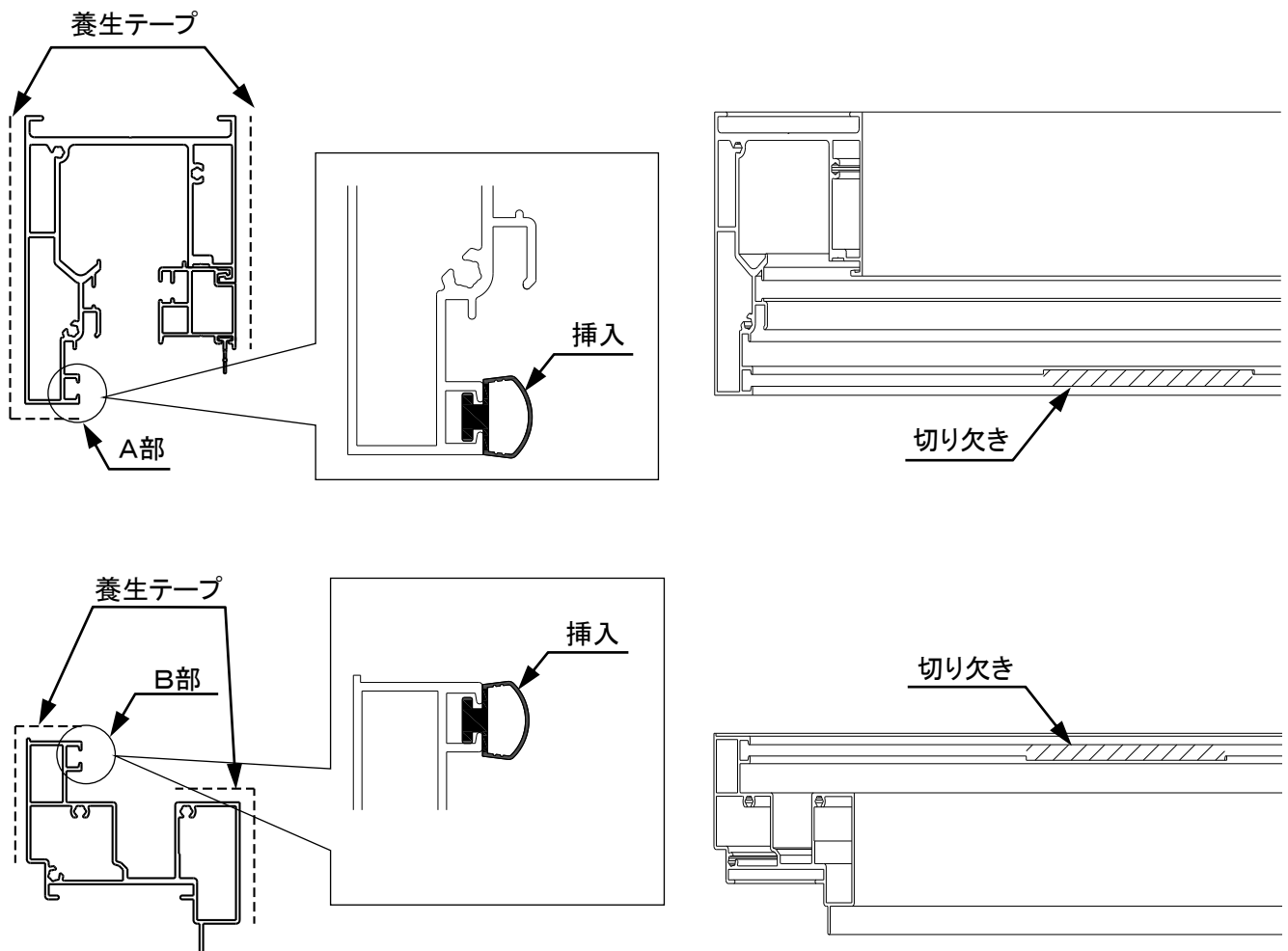
○タイト材を挿入した後に、四方枠を組み立ててください

注意▶ タイト材の入れ忘れ、挿入不備は漏水の原因となります。

①タイト材を上枠A部と下枠B部に挿入してください。

※上枠および下枠の折戸側端部の切り欠きから挿入してください。

※養生テープははがさないでください。



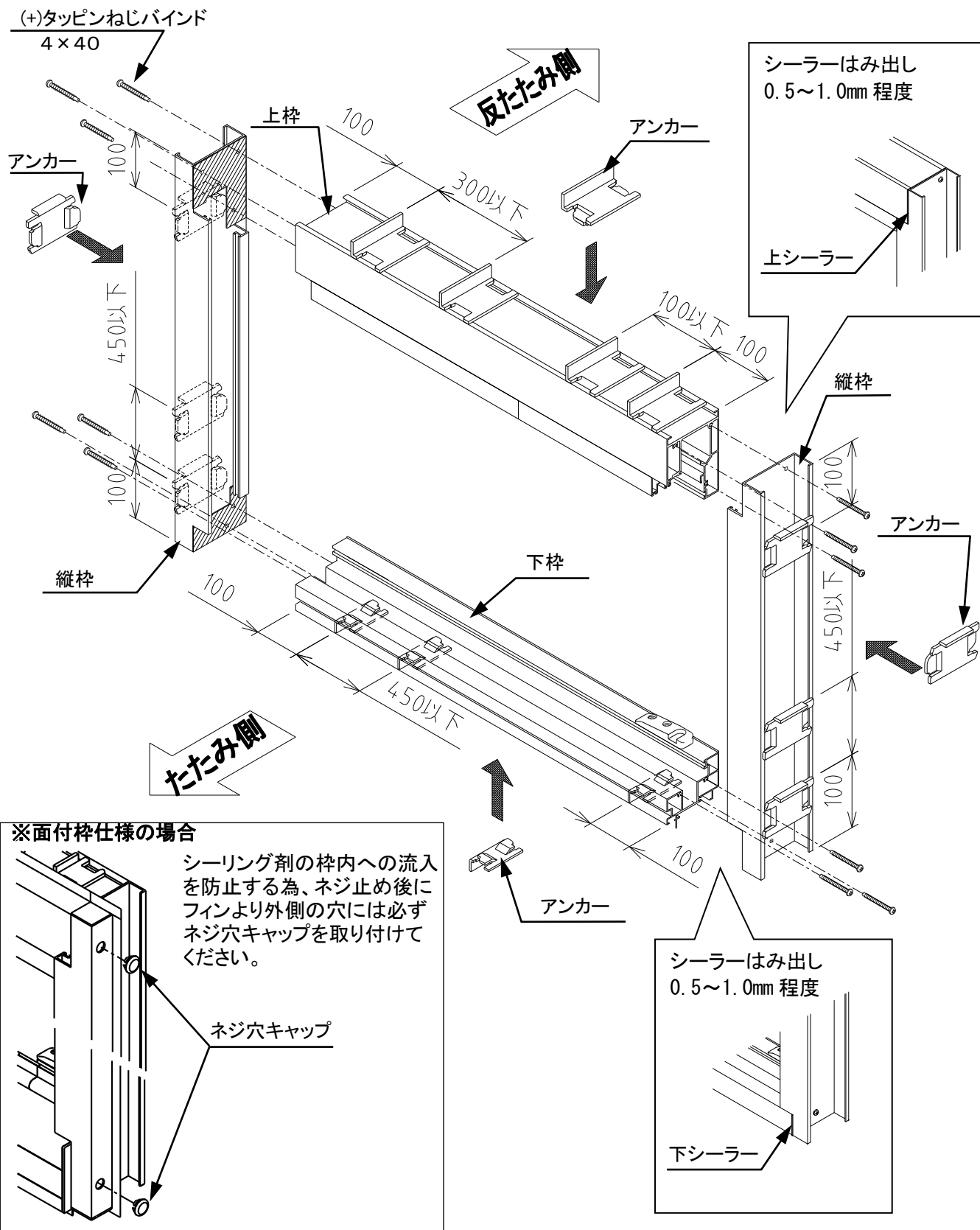
3 枠の組み立て

■直線

・扉のたたみ側を確認し、枠の垂直・水平度に注意して、(+)タッピンねじバインド 4×40 12本にて固定してください。

本図は、RC枠仕様 片引き:右勝手を示す。

注意 上枠・下枠を接合する際に、シーラー面を傷つけないように
上枠・下枠を垂直に縦枠に押し当ててください。



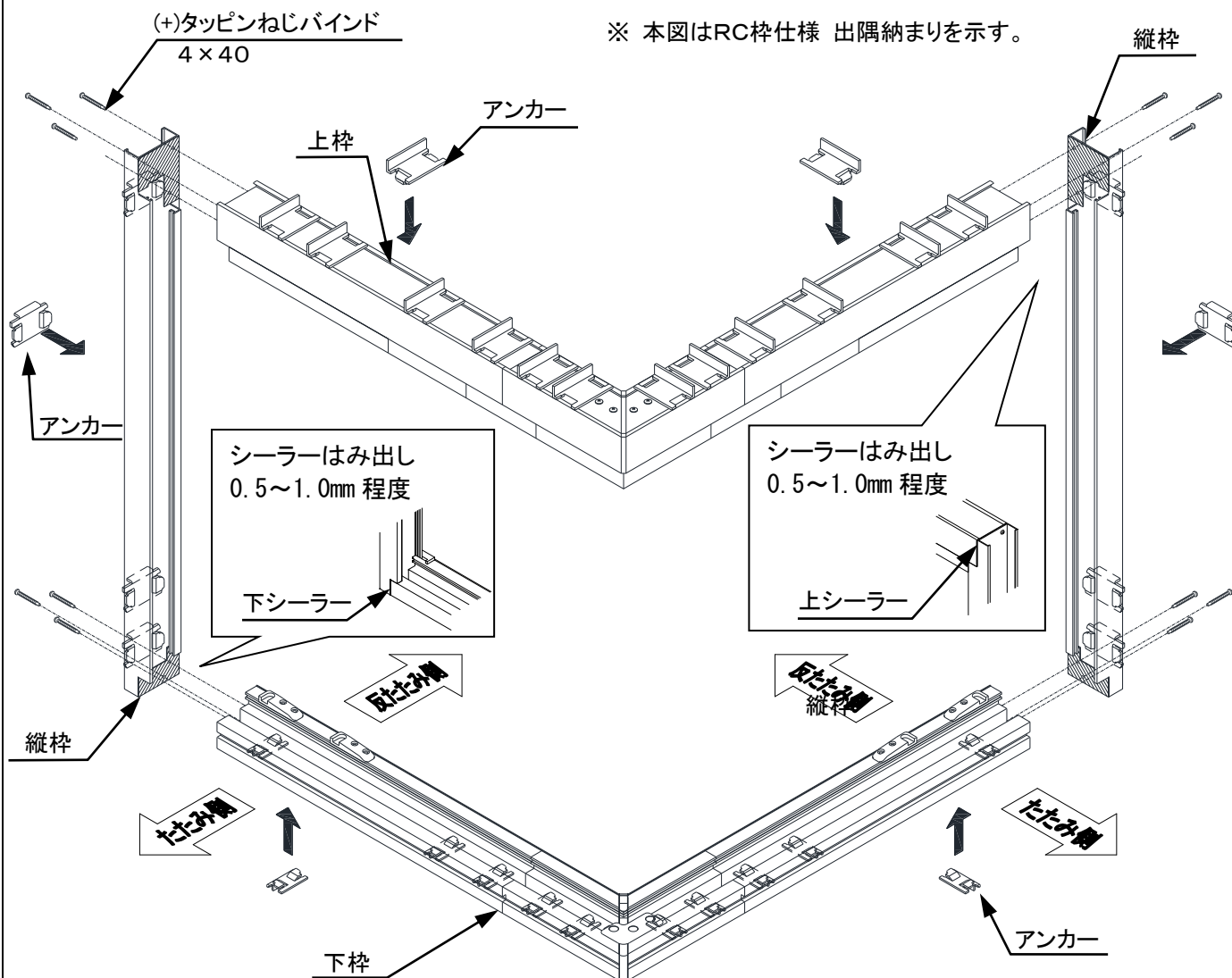
■角度付

扉のたたみ側を確認し、枠の垂直・水平に注意して、(+)タッピンねじバインド 4×40 12本にて固定してください。

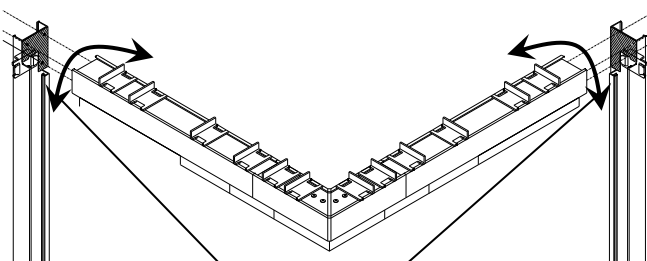
注意 上枠・下枠を接合する際に、シーラー面を傷つけないように上枠・下枠を垂直に縦枠に押し当ててください。

! すき間は漏水の原因となります。

※ 本図はRC枠仕様 出隅納まりを示す。



枠の扱いについて



枠の組み立て時や、枠の取り付け時に、枠角度部へ無理な力をかけないようにしてください。

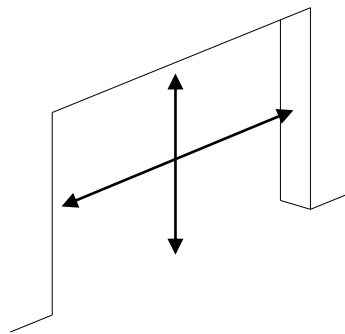
枠角度部に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。

※ 左図はRC枠仕様上枠 出隅納まりを示す。

矢印方向に枠が動くと、角度部に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。

4 躯体の寸法確認

- ・躯体の開口幅、開口高寸法を実測し、同時に柱および壁の垂直を実測し、枠が躯体開口部に納まるかどうか確認してください。



5 枠の取り付け精度

- ・下に示す、製品の各部寸法を確認してください。
本製品は、上吊り方式のため、枠のねじれ・たわみ・傾がり・倒れ等があると、**障子の開閉や性能に悪影響をおよぼします**

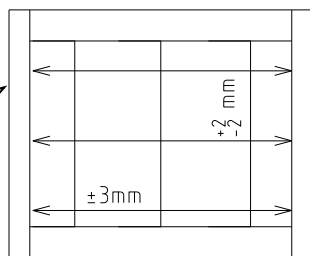
注意

特に、中央付近のH寸法には十分注意してください。

内法寸法

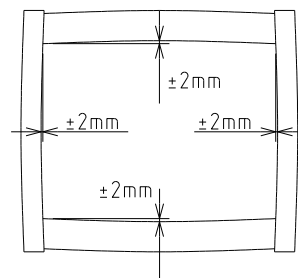
特に注意してください。

内法高さ ± 2 mm
(左右中3ヶ所)
内法巾 ± 3 mm
(上中下3ヶ所)



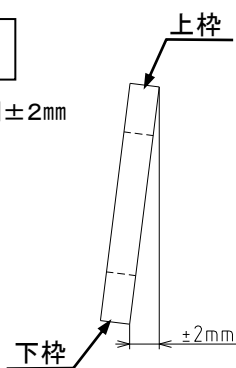
たわみ・そり

- ・上中左右各部材 ± 2 mm



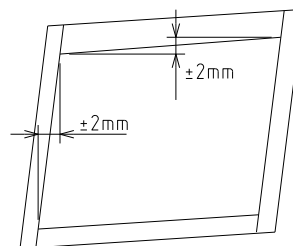
倒れ

- ・上下間 ± 2 mm

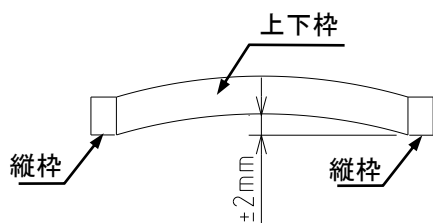


傾がり・水平度

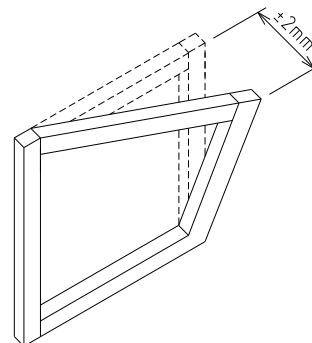
- ・部材両端間 ± 2 mm



内外へのふくらみ



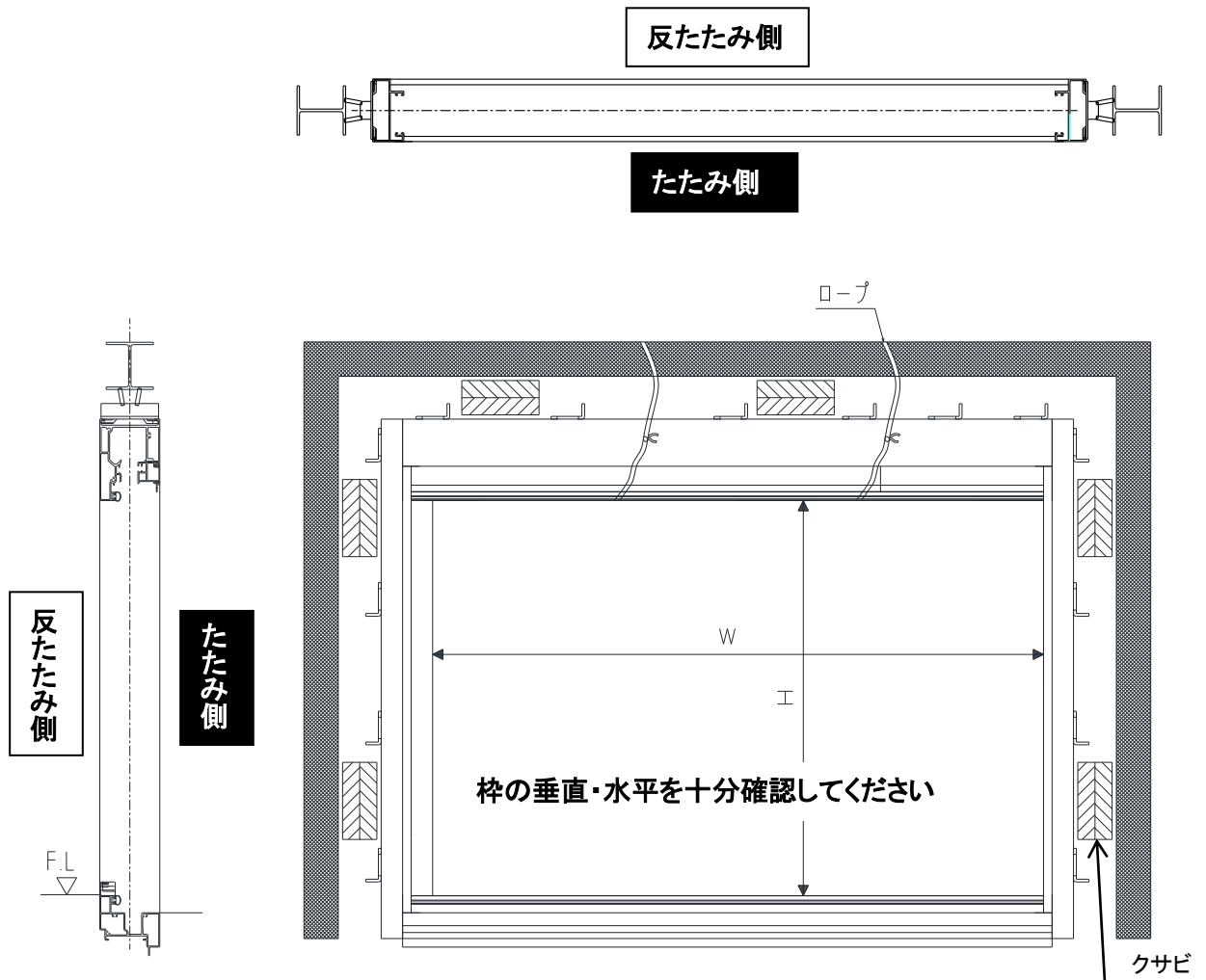
ねじれ



6 枠の建て込み

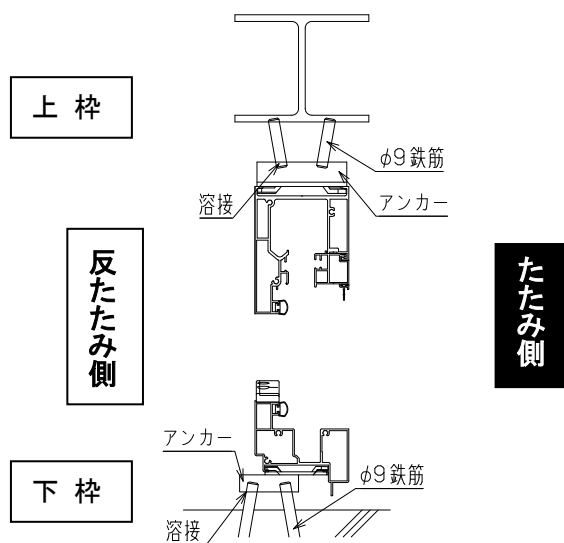
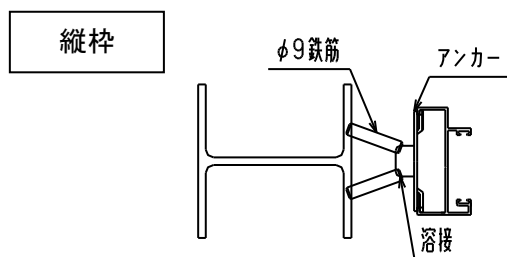
- ① 枠の内外・左右勝手を確認し、開口部にはめ込み、ロープ・クサビ等で仮止めしてください。
- ② 枠の取り付け精度 (P14) を参考にして、枠の垂直・水平を十分確認してください。
- ③ 割付けられたアンカーを、下図のように躯体に溶接止めしてください。

本図は、RC枠仕様 片引き: 右勝手を示す。



・アンカーは、必ず2カ所溶接して固定します。

この商品は、上枠、縦枠に重量がかかります。
アンカーの取り付けピッチ (P5~7) を必ず守ってください。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778) 62-1122(代)

FAX (0778) 62-2234